

■著者紹介

松尾 弘 (まつお ひろし) 序, 第1章, 第3章, 第5章 執筆

略歴 1962年生まれ。慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了、一橋大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。現在、慶應義塾大学大学院法務研究科教授。

主要業績

- 『開発法学の基礎理論—良い統治のための法律学』(勁草書房, 2012年)
- 『ヘルムート・コーディング法解釈学入門』(慶應義塾大学出版会, 2016年)
- 『土地所有を考える—所有者不明土地立法の理解を深めるために』(日本評論社, 2023年)
- 『民法』(慶應義塾大学出版会, 2023年)
- 『物権変動における第三者保護の法理—権利変動論の展開』(慶應義塾大学出版会, 2025年)

松井 和彦 (まつい かずひこ) 第2章 執筆

略歴 1970年生まれ。一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了。現在、大阪大学大学院高等司法研究科教授。

主要業績

- 『契約の危殆化と債務不履行』(有斐閣, 2013年)
- 『LEGAL QUEST 民法IV 契約』(有斐閣, 2021年, 共著)
- 『判例プラクティス民法II 債権 [第2版]』(信山社, 2023年, 共編)
- 『契約法 [第2版]』(日本評論社, 2024年, 共著)

古積健三郎 (こづみ けんざぶろう) 第4章 執筆

略歴 1965年生まれ。京都大学大学院法学研究科修士課程民刑事法専攻修了、同研究科博士後期課程民刑事法専攻単位取得退学。現在、中央大学大学院法務研究科教授。

主要業績

- 『換価権としての抵当権』(弘文堂, 2013年)
- 『担保物権法』(弘文堂, 2020年)
- 『実戦演習民法—予備試験問題を素材にして』(弘文堂, 2021年)
- 『入会林野と所有者不明土地問題—両者の峻別と現代の入会権論』(岩波書店, 2023年, 共編著)
- 『法人格のない団体の権利主体性』(弘文堂, 2023年)

原田 昌和	(はらだ まさかず)	第6章 執筆
略歴	1972年生まれ。京都大学大学院法学研究科修士課程民刑事法専攻修了、同研究科博士後期課程民刑事法専攻単位取得退学。現在、立教大学法学部教授。	
主要業績	『リーガル・リサーチ＆リポート〔第2版〕』（有斐閣、2019年、共著） 『日評ベーシック・シリーズ 民法総則〔第2版〕』（日本評論社、2022年、共著） 『START UP シリーズ民法①総則 判例30！〔第2版〕』（有斐閣、2025年、共著） 『LEGAL QUEST 民法I 総則〔第2版補訂版〕』（有斐閣、2020年、共著） 「消滅時効の正当化根拠について一起算点および時効期間を中心に（明治民法制定まで）」立教法学111号（2024年）	